

第4回 天竜川ダム再編事業環境検討委員会の開催趣旨

現在まで3回にわたる委員会において、各委員の先生方にご議論いただき、天竜川の変遷や現況及び天竜川ダム再編事業が天竜川下流の物理環境に与える影響が次第に明らかになって来ており、物理環境の変化が生物環境に及ぼす影響を評価する段階に入ってきております。

生物環境の評価に当たっては、注目すべき生物種を選定してインパクト・レスポンスを構築し、出来る限り定量的な評価を行うという先駆的な試みを行ってきました。しかしながら、第3回委員会でご指摘いただきましたように、生物環境に関する既存のデータの量や精度に限りがあって定量的な予測を行うのに限界があること、また限られた種についての情報から生物環境の評価ができるかという視点で、十分なものに行きつかない状況にあります。

このような現状の中、第3回委員会において、委員長より、天竜川ダム再編事業における生物環境の予測評価をとりまとめるにあたり、一度生物分野をご専門とする委員の方々より環境予測のとりまとめに関するご意見をいただく場を設けることをご提案いただきました。そこで、生物系の専門家からのご提案等をいただくとともに、ご提案等に対し物理系の専門家からもコメントをいただくことを目的に、第4回委員会を開催いたします。

1. 議事内容

- ① 生物環境予測のあり方について
データ等の制約条件を踏まえ、生物環境の予測・評価をどのように行っていくべきか。
- ② 生物環境への影響の過程について
天竜川において、物理環境の変化がどのように生物環境の変化させていくのか、その過程はどういう仮説が考えられるか。
- ③ 物理環境予測について
①②を踏まえ、現在行っている物理環境予測について、生物・生態系評価に資するという視点で、予測手法や予測項目で改善すべき事項は何か。

2. 今後の進め方

第4回委員会(6月11日及び13日)における議論を踏まえ、第5回委員会において「生物環境予測・評価のとりまとめ」「今後の調査計画の立案」についてご議論いただく予定です。